

# 明石市総合交通計画(2023年度～2032年度)の概要(案)

## 上位計画

あかしSDGs推進計画(明石市第6次長期総合計画)

## 関連計画

- 【県】社会基盤整備プログラム
- 【県】ひょうご公共交通10か年計画
- 【市】明石市都市計画マスタープラン
- 【市】明石市立地適正化計画
- 【市】明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画
- 【市】明石市地域防災計画
- 【市】明石市みちビジョン
- 【市】第3次明石市交通安全基本計画 など

## 本市の課題

- 少子高齢化の進展**  
高齢化率の増加、年少人口の減少
- 持続可能なコンパクトなまちづくり**  
人口密度の低下の抑制
- 公共交通(鉄道・バス)の交通ネットワークの維持**  
人件費等の高騰による運行経費の増加
- 多様な移動ニーズへの対応**  
交通弱者が安心・安全に利用できるユニバーサルデザインの促進
- 交通安全対策**  
高齢者の人身事故件数の割合の増加
- 脱炭素に向けた対応**  
全国、県よりも大きい運輸部門のCO<sub>2</sub>排出割合
- 自動車分担率の増加**  
市西部地域の自動車分担率の増加
- 近隣市町との連携の強化**  
近隣市町との交流の促進
- 新しい生活様式への対応**  
公共交通利用者が減少する中、持続可能な交通体系の確立

## 計画の基本理念

みんなで持続可能なやさしい交通体系を守り・育てる  
～「人と人」「人と地域」「地域と地域」をつなげる公共交通～

## 計画の目標

- 公共交通利用者数** ●現況値(2020年度) 8,410万人/年  
公共交通利用者数をコロナ禍前の1億人/年まで増加
- 公共交通利用圏** ●現況値(2022年度) 91.8%  
市街化区域内の公共交通利用圏を90%以上に維持
- コミュニティバスの収支率** ●現況値(2021年度) 36.4%  
コミュニティバス全ルート平均収支率を50%に増加
- 利用者1人あたりの公的資金投入額** ●現況値(2021年度) 138円/人  
利用者1人あたりの公的資金投入額を138円/人に維持

## 計画の基本戦略・施策方針

- 公共交通を中心とした交通体系の構築【マネジメント】**
  - ①公共交通ネットワークの維持・改善
  - ②公共交通利用環境の向上
  - ③交通に関する調査・研究
- 誰もが快適に移動できる交通環境づくり【交通環境のユニバーサルデザイン】**
  - ④移動等円滑化(ユニバーサルデザインの促進)
  - ⑤移動支援の推進
- 持続可能な社会に向けた安心・安全で環境にやさしい取り組みの実施【持続可能な社会の実現】**
  - ⑥交通安全・快適性向上
  - ⑦災害時等への対応
  - ⑧環境への配慮
- 明石のまちを活性化するための交通体系【交流促進】**
  - ⑨観光施策との連携
  - ⑩近隣市町や地域間との交流促進

- 公共交通をみんなで守り・育てる意識の醸成と実践【参画と協働】**
  - ⑪参画と協働による施策実施
  - ⑫公共交通を利用する意識の醸成

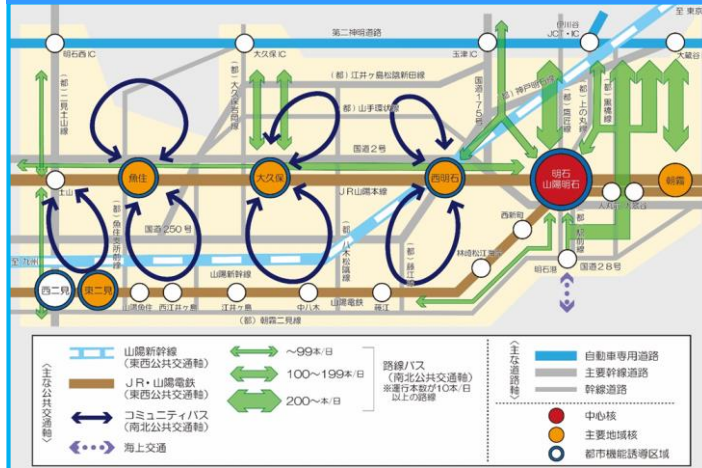
## 主要プロジェクト

- みんなで守り・育てる持続可能な交通体系の確立**
  - ・バス路線網の維持・改善
  - ・地域住民などに対する公共交通利用促進
  - ・積極的な広報、PR、出前講座 など
- ユニバーサルデザインの推進**
  - ・鉄道駅のホームドアの設置
  - ・駅施設だけでなく歩道など連続的な移動空間の整備 など
- 駅を中心とした地域拠点の形成との連携**
  - ・西明石駅南側の開発(駅前広場、アクセス道路、住宅開発)
  - ・中心核である明石駅周辺における取組との連携(市役所建替、東外港再開発) など
- 快適な道路ネットワークの構築**
  - ・山手環状線(大塚工区)、江井ヶ島松陰新田線(神戸市境)の整備
  - ・自転車通行空間の整備 など
- 交通安全対策の充実**
  - ・交通弱者対策の充実・自転車対策の推進
  - ・踏切道の交通環境の整備
  - ・交通安全の取り組みの普及徹底 など

## 計画の期間

令和5(2023)年度～令和14(2032)年度【10年間】

## 交通ネットワーク図(市内)

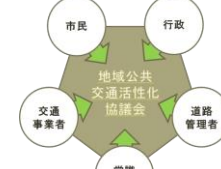


## 交通ネットワーク図(広域)



## 計画の推進体制

「明石市地域公共交通活性化協議会」により、達成状況を監視



## 計画のPDCA



